

「山形県精神保健福祉士協会 2022 年度 第 8 回理事会」会議録

2022 年 12 月 15 日（木）

（座長：那須会長）

14 時 00 分～15 時 00 分

【事務連絡】

那須会長より

- 先日の基幹研修Ⅰ、無事開催・終了し良かった。当日のスタッフ・講師・当日までの計画・準備を担っていただいた皆様お疲れ様でした。
- 今年度も県委託研修が控えているのと、来月には R5/1 クラシスプラン研修会、同日に成年後見・虐待防止 こまくさ会主催の会議もありますのでよろしくお願いします。
- ソーシャルワーカーデー（以後、SWD）に関しては各圏域を中心の協議へ移行していきますが、実行委員を軸に社福士会、MSW 会と連携していきましょう。

【協議事項】

基幹研修Ⅰ総括（※当日スタッフ及びアンケートより）

- オンライン開催で参加者とのコンタクトが難しく、温度差を感じる場面もあった。
- 参加者のレスポンスを掴みにくい部分があり、講義序盤から個別の質問・投げかけるようなスタイルを取ればよかった。
- 講師側もオンラインでの経験値を増やしていく必要性を感じた。
- 演習では福祉専門職によるグループワークのため委託研修等の多職種とは違い、比較的発言量も伸び、互いに集中し熱が入っていた部分もあった。
- 当日、事務局スタッフの IT 技術面でのバックアップは非常にスムーズで安心できた。
- 技術スタッフとタイムキーパーが同一だと負担が大きいため、今後は分担すべき。また IT スタッフがもう 1 名は必要と感じた。
- オンライン研修の増加は今後も十分予想できるため、IT 技術の底上げを協会事務局としても図っていく。現状では特定の理事への負担が過多と判断でき、全体でフォロー及び習得できるように努めていく。
- 今後、参加者アンケートの内容を踏まえて、再度、検証していく。

【県委託研修】

後藤事務局長より報告

- ① 今年度も正式に県より相談支援事業所・就労 AB 等対象の研修の委託を受けた。
- ② 基本は昨年度同様に 1、相談事業、2、研修開催の 2 軸にて展開する。
- ③ 相談事業に関しては県より当該事業所へ今後、サービス概要をメールで周知予定。
尚、各圏域担当窓口に関して各理事へ通達、了解済みの為、よろしくお願いします。
- ④ 研修は 3 回開催の方針。案としては、3 回開催の内、2 回を基礎研修、残り 1 回を専門研修
→協議後、今後の理事会日程及び準備期間を逆算し、大枠での研修会予定と内容について
早期に計画必要と判断。今後、事務局に一任し、基本計画（案）を策定してもらう方針とした。

「山形県精神保健福祉士協会 2022 年度 第 8 回理事会」会議録

【SWD】

SWD に関しては各圏域を中心の協議へ移行していきますが、実行委員を軸に社福士会、MSW 会と連携していく。

今後会長より実行委員へ、各協会の圏域担当の連絡先を伝え、情報共有に努めていく方針とした。

【出席者】

那須・佐藤祐・淀野・後藤・山岸・木川・本間・遠藤・渡部・高子・阿部・吉田 12 名